

社会医療法人聖峰会

切れ目のないヘルスケアの提供

聖峰会は、田主丸中央病院・聖峰会マリン病院・介護老人保健施設・居宅介護支援事業所・認知症グループホームなどの運営を通して病気の予防・治療から介護の予防・介護にいたる健康のあらゆる場面に対応できる「切れ目のないヘルスケア」を提供し、皆さまのより良い生活に貢献しています。

医療事業 (田主丸中央病院・聖峰会マリン病院)

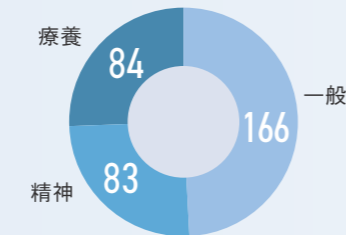
田主丸中央病院・聖峰会マリン病院

常勤医師 38名	看護師 275名	准看護師 26名	看護補助 39名
介護福祉士 25名	管理栄養士 7名	救急救命士 3名	言語聴覚士 6名
作業療法士 23名	視能訓練士 1名	歯科衛生士 5名	社会福祉士 7名
診療放射線技師 17名	精神保健福祉士 1名	保健師 4名	薬剤師 16名
理学療法士 44名	臨床検査技師 19名	臨床工学士 12名	臨床心理士 1名
事務 85名	運転手 1名	労務 2名	

田主丸中央病院
診療科目
32科

内科 / 呼吸器内科 / 循環器内科 / 消化器内科 / 糖尿病・内分泌内科 / 腎臓内科 / 人工透析内科 / 血液内科 / 脳神経内科 / 外科 / 呼吸器外科 / 消化器外科 / 整形外科 / リウマチ科 / 脳神経外科 / 眼科 / 泌尿器科 / 皮膚科 / 放射線科 / 精神科 / リハビリテーション科 / 歯科 / 歯科口腔外科 / 心臓血管外科 / 麻酔科 / 形成外科 / ベイクリニク内科 / 内視鏡内科 / 緩和ケア内科 / 救急科 / 耳鼻咽喉科 / 感染症内科

田主丸中央病院
病床数 333床



聖峰会マリン病院
診療科目
13科

内科 / 呼吸器内科 / 循環器内科 / 消化器内科 / 外科 / 消化器外科 / 肛門外科 / 整形外科 / 大腸外科 / アレルギ科 / リハビリテーション科 / 救急科 / 麻酔科

医療事業
657

聖峰会の
職員数
973名

法人本部
34

介護事業
282

関連施設
17施設

介護事業

常勤医師 1名	看護師 21名	准看護師 7名	運動指導士 1名
介護支援専門員 24名	介護福祉士 142名	介護職 36名	管理栄養士 1名
作業療法士 3名	社会福祉士 4名	理学療法士 12名	調理員 9名
事務 4名	運転手 7名	労務 3名	アスリート職員 7名

介護老人保健施設

グループホーム

認知症対応型デイサービス

小規模多機能型居宅介護

通所リハビリテーション

居宅介護支援事業者

健康科学センター

サンライフ聖峰

ひまわり館 / ひまわり2号館 / ひまわり3号館 / グループホームさくら

さくらデイサービスうきは / さくらデイサービス日田

ひまわりの郷田主丸 / ひまわりの郷うきは / ひまわりの郷吉井 / さくらの郷日田

デイケアセンターひまわり / デイケア燦ふらわー

善導寺ケアプランサービスひまわり / ひまわりケアプランサービス / さくらケアプランサービス日田

サンヘルズ聖峰

介護事業所

日帰りで通う「通所サービス」と事業所に居住する「入所サービス」を提供する介護老人保健施設や、居宅介護支援事業所、認知症グループホームを運営しています。健康状態に変化があっても住み慣れた地域を離れることなく、いつまでも自分らしく過ごしていただけるような場所の提供を目指し、住みやすい地域づくりに取り組んでいます。

● 聖峰会の取組み



子どもがいても安心して働けるよう田主丸中央病院のすぐ隣りに保育所を併設しています。一般の方が利用できる病児保育室もあり、おさまの急な病変時でも仕事を休むことなく利用できます。



資格取得
サポート制度

より高いステージを目指す職員に、各資格の取得費用を法人が負担する制度を設けています。また、職員の資格取得意欲を尊重し、資格取得に計画的に取り組むことができるよう所属部署でのスケジュール調整等、職場全体でサポートしています。



キャリアパス制度

キャリアの多様化に対応し、個人に応じた能力を開発し発揮できるよう、職員が自身のキャリアについて考え、選択する機会を提供するキャリアパス制度を設けています。職員全員がモチベーションを高め、最大のパフォーマンスを発揮できるような環境づくりに取り組んでいます。



介護レベル
認定制度

厚生労働省が促進する「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」を基に独自の評価制度を設け、1年ごとに評価を行い、着実にステップアップできる環境を整えています。



外国人採用

平成31年4月より、中国やミャンマーからの特定技能者をスタッフとして受け入れており、現在は法人全体で19名が田主丸中央病院や介護事業所で勤務しています。



アスリート採用

地域で頑張るアスリート選手の職員採用を行っています。アスリート職員が練習に専念できる職場環境や休暇制度を整えることで、毎年アスリート職員数が増加しており、介護職の人材確保にも繋がっています。

● 理事長挨拶

私はここ田主丸で育ちました。田主丸幼稚園に通い田主丸小学校で6年間を過ごしました。耳納山麓に広がるこの地の自然に育まれ、町の人々に可愛がられて成長したのだと感じています。

日本は少子高齢化社会に突入しており、その傾向は今後も益々顕著になります。ここ旧浮羽郡も久留米市街地からやや離れていることもあり、過疎化も徐々に進んでいます。そのような社会的・地理的状況から、ここで当院が高度先進医療や三次救急に取り組むにはやや無理があります。

しかし、だからと言って我々が提供するサービスの「質」がほどほど良いとは決して考えていません。私は、我々聖峰会が担うべき「医療と介護・福祉の総合的なサービス」において常に一流を目指したいと考えています。現代社会においては高度先進医療が必要な方は一部にとどまり、大半の方が癌や慢性の病気をもち、それをコントロールしながら「より良い生活」を送って行かなければなりません。

「地域のために 地域とともに」を理念に掲げる当法人が、医療や介護・福祉サービスを通じて、「より良い生活」を送るお手伝いのできればと考えております。



理事長 鬼塚 一郎